

比べ3.3倍高かった。これらの結果から、身体的・精神的な健康状態が日常生活の満足度に大きく影響することが示唆された。

D-5 原爆被爆者のQOLに関する統計的検討

長崎大・医 本 田 純 久*

長崎大・医 柴 田 義 貞

日常生活の満足度に影響する要因を明らかにすることを目的に、長崎市在住の原爆被爆者を対象に質問紙調査を行い分析した。日常生活に不満を感じる人の割合は、主観的健康度が悪い人では良いまたは普通の人に比べ2.9倍高く、General Health Questionnaire 12項目得点が高得点の人では低得点の人に